

勝海舟夫妻の墓所周辺を探索しよう！

勝海舟夫妻の墓所周辺には、海舟や西郷隆盛ゆかりの文化財が複数あります。記念館を観覧いただいたあとに、是非とも墓所周辺で、歴史に思いを馳せてみてください！

① 海舟ゆかりの人びとが墓前に奉納した“水盤”

水盤とは、手などを洗い清めるための水うけのこと。56名に及び海舟ゆかりの人びとは、海舟の墓前に水盤を奉納し、海舟へ感謝の意を表しました。裏面に刻まれる奉納者は、旧幕臣・政治家・官僚外交官・文化人・実業家等と様々で、生前の海舟のもとに集った人々の幅広さを物語っています。

ポイント

裏面は、一部劣化しているため、名が判明できない部分がありますが、そこには、**外山正一**（東京帝国大学総長、文部大臣）や**戸塚文海**（将軍徳川慶喜の侍医、海軍軍医）などの名も刻まれていたようです。



② 東京奠都70年を記念して建てられた、海舟・西郷を称えた記念碑

昭和14年（1939）、東京奠都70年を記念し、東京市長小橋一太により建立された記念碑。碑文では、江戸が戦火から救われ、東京が都となって以来、「帝都」として栄えているのは、「（西郷）隆盛 安芳（海舟）ノ両雄」がうちとけて、国の百年の大計を定めた賜物と述べられています。※奠都：都を定めること。

ポイント

同年5月12日、東京の海舟墓所と鹿児島西郷墓所で、同時に両者への感謝祭が行われました。このとき、海舟墓所の記念碑が除幕されました。

東京での感謝祭には、海舟の娘で当時唯一存命だった逸子が参列しています。

〈墓所へのアクセス〉



②

〈まだまだある墓所周辺の見どころ〉

- 留魂祠（明治16年）
- 南洲先生建碑記（明治16年）
- 勝海舟追慕碑（大正2年）